

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター

2021年2月26日

CFM 政策会合：「デジタル経済における日米協力」 ジム・フォスター氏を招いて

2月10日、マンズフィールド財団は、[在日米国商工会議所 \(ACGJ\)](#) で新デジタル作業部会のシニア・アドバイザーを務めたジム・フォスター氏を講師に招き、[コーポレート・フレンズ・オブ・マンズフィールド \(CFM\)](#) 政策会合をオンラインで開催した。フォスター氏は、今月25日に公開されたACGJとマッキンゼー・アンド・カンパニーの共同事業である新白書「Japan Digital Agenda 2030 (2030年日本デジタル改革)」の草案作成に携わっており、本会合では、地域・地球規模で成長するデジタル経済における日米協力について、白書の成果を交えながら現状の解説を行った。

フォスター氏は1980年初頭より25年にわたり米国の外交官として日本や韓国、欧州などに駐在した経験を持つ。故[マイク・マンズフィールド大使](#)が日本に在任中は政治部に属し、大使の日本の政治家との人脈作りに貢献した。国務省を退官後、2006年にマイクロソフト・ジャパンの法人規制部門ディレクターを務め、2011年より慶応義塾大学の法学部と同大学院政策・メディア研究科で教鞭を執る一方、2009年から2011年にかけて、ACGJの副会長も務めた。現在は長野県を拠点にデジタル経済の成長やイノベーションに関するビジネスや政策についての情報発信を行っている。また本会合のモデレーターは、ACGJの特別アドバイザー（元ACGJ会長）で、マクラーティ・アソシエーツのシニア・ディレクター及びマンズフィールド財団理事会副会長の[クリストファー・ラフルー大使](#)が務めた。

なお、白書（英語版・日本語版）の無料ダウンロードは[こちら](#)から。

マンズフィールド-PhRMA 研究者プログラム：第4回オンライン・セミナー開催

2月17日、マンズフィールド財団は、米国研究製薬工業協会（PhRMA）の支援を受けて実施している「マンズフィールド-PhRMA 研究者プログラム」の一環として、同窓スカラーを対象としたオンライン・セミナーを開催した。第4回目となる本セミナーでは、ファイザー社からスピーカー4名を迎え、デジタルメディスン、がん分野におけるグローバル製品開発、現在進行中の創薬研究についてのプレゼンテーション及び質疑応答が行われた。

本プログラムの詳細は[こちら](#)から。

第25期マンズフィールドフェローのための訪日前オンライン・セミナー：第4回実施

2月18日、マンズフィールド財団東京事務所は、[マンズフィールド・フェローシップ・プログラム](#) 第25期フェローのための第4回訪日前オンライン・セミナーを実施した。今回は、[一般財団法人国際経済交流財団 \(JEF\)](#) の専務理事兼「ジャパン・スポットライト」

(JEF 発行) 編集長を務める原岡直幸氏が、1978 年から 30 年にわたり経済産業省で経済産業政策や国際貿易政策の専門家として携わってきた自身の活動を振り返りながら (途中、経済協力開発機構 (OECD) パリ本部に出向 2 回、日本貿易振興機構 (JETRO) サンフランシスコ事務所所長を務めるなど国内外で要職を歴任)、日米の経済・貿易関係の変遷をフェローに説明するとともに、日本の省庁で働く上での文化的な違いや日本人職員とのコミュニケーションの取り方への助言を行った。

なおマンスフィールド財団は、国際経済交流財団 (JEF) と連携して[日米友好基金トーマス・S・フォーリー議員交流プログラム](#)を行っている。

第 26 期マンスフィールドフェロー歓迎交流会実施

2 月 25 日、マンスフィールド財団は、昨年 12 月に選考されたマンスフィールド・フェローシップ・プログラム第 26 期フェロー内定者のためのオンライン歓迎交流会を実施した。第 26 期フェローの訪日研修は 2022 年夏開始予定。またフェロー詳細は後日発表予定。

米国大使館主催オンライン講演会にマンスフィールド財団ジャヌージ理事長が登壇

1 月 29 日、アメリカ大使館主催のオンライン講演会「バイデン政権下のアジアにおける米国の持続的利益 (Enduring U.S. Interests in Asia under the Biden Administration)」に、マンスフィールド財団のフランク・ジャヌージ理事長が講師として登壇した。また司会は早稲田大学大学院アジア太平洋研究科の植木 (川勝) 千可子氏教授が務めた。

講演会は以下より視聴可能 (在日米国大使館チャンネル)

[アメリカ大使館主催講演会 「バイデン政権下のアジアにおける米国の持続的利益」](#)

言論 NPO 主催オンライン「アジア平和会議」にマンスフィールド財団ジャヌージ理事長が登壇

2 月 25 日、言論 NPO 主催「第 2 回アジア平和会議」にマンスフィールド財団のフランク・ジャヌージ理事長が講師の一人として登壇した。本会議は、民間の対話を主導とした地域平和や紛争回避への取り組みを目的に行われ、日本、米国、中国、韓国の 4 か国の識者が集まり現状の課題について議論を行った。

<今後のイベントのご案内>

3 月 11 日 午前 8 時-9 時半 米日カウンスル主催

[「あの日をわすれない—2011 年 3 月 11 日 これまでとこれから」](#)

Remembering March 11, 2011: Looking Back, Looking Forward

本イベントは、米日カウンシルの主催で行われ、共催団体には、モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団の他、日米文化教育交流会議（CULCON）、ワシントン DC 日米協会（JASWSC）、ジャパン・ソサエティ（ニューヨーク）、日本国際交流センター（JCIE）、全米日米協会連合（NAJAS）、笹川平和財団 USA（SPF-USA）、テイラー・アンダーソン記念基金、米日財団（JS-JF）、米国 JET アルムナイ・アソシエーション（USJETAA）及び横須賀アジア太平洋研究会議（YCAPS）が含まれます。協賛は在ワシントン DC 日本大使館および在東京米国大使館。弊財団のフランク・ジャヌージ理事長も講演者の一人として登壇します。

登録は[こちら](#)から

<財団関連の記事や報道のご紹介>

◆東京新聞の記事に、ジャヌージ理事長のコメントが引用されました。

[「バイデン新政権が見据える「共同戦線」 対中国や温暖化問題に同盟国と対応へ」](#)

[モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 日本語ホームページ](#)



THE MAUREEN AND
MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Connecting People and Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations

[Facebook](#)

[Twitter](#)

[Email](#)

[Support](#)